

#子育て世代の安心づくり

キッズクラブ運営事業(1億9,357万円)

子育て世帯の保育ニーズに対応するため、土田小学校敷地内に2カ所目のキッズクラブを新築しました。



新築したキッズクラブ



第2ばら教室KANI

ばら教室KANI運営事業(3,589万円)

外国籍児童生徒に、学校教育で必要な生活指導や日本語指導などを行いました。また、増加する外国籍児童生徒に対応するため、第2ばら教室KANIを広陵中学校内に新設しました。

#高齢者の安気づくり

地域支援事業(1,144万円) ※介護保険特別会計

新型コロナウイルス感染症の影響で介護予防教室が中止となるなど、高齢者の運動する機会が減少したため、介護予防や健康増進などを目的とした「おうちでK体操」と「おうちで脳トレ体操」の動画を作成し、ケーブルテレビの放送や市HPで公開しました。



脳トレリズム体操

作成した動画

いつまでも健康に！
『おうちで体操シリーズ』
市HPからご覧いただけます



高齢者生きがい推進事業(2,284万円)

コロナ社会における自宅での過ごし方などを掲載したあんきクラブ便りを3回発行し、75歳以上の人へ配布しました。また、民生委員と協力して80歳の高齢者宅を訪問し、日頃の暮らしぶりなどを伺いました。

#新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策総合支援事業 (2億1,718万円)

新型コロナウイルス感染症対策のため、市役所庁舎、子育て健康プラザ・マーノ、連絡所に体温を測定するサーマルカメラを設置しました。また、避難所での対策として、パーテーションやダンボールベッド、非接触型体温計などを整備しました。

かっこ応援特別給付金事業(1億4,693万円)

子育て世帯を応援するため、中学生以下の子ども1人当たり1万円の特別給付金を支給しました。

プレミアム付Kマネー発行事業(25億6,384万円)

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内の消費需要を喚起し、地域経済の活性化を図るため、20%のプレミアムを付したKマネーを発行・販売しました。

小学校ICT環境整備事業(5億4,873万円)

中学校ICT環境整備事業(2億8,149万円)

市内の全公立小中学校に無線インターネット環境を整備し、児童生徒用1人1台タブレットPCを購入しました。

事業内容などは、2~4ページで紹介しています。

令和2年度決算

問 財政課



▲市HP

可児市政経営計画の初年度として4つの重点方針「地域・経済の元気づくり」「まちの安全づくり」「子育て世代の安心づくり」「高齢者の安気づくり」に基づき、さまざまな事業を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止や地域経済の回復に取り組みました。決算状況などの詳細は市HPをご覧ください。

#地域・経済の元気づくり



大河ドラマ館の閉館セレモニー



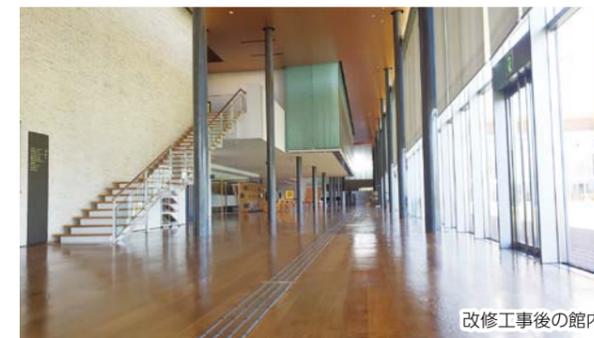
博覧会会場でもてなしをするスタッフ



歴代大河ドラマ「明智光秀」甲冑展

大河ドラマ活用推進事業(1億3,366万円)

大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を機に開催した明智光秀博覧会には34万5,930人が来場し、「明智光秀のふるさと 可児」の魅力を市内外に向けて発信しました。



改修工事後の館内

文化創造センター大規模改修事業(12億8,269万円)

施設の安全対策、経年劣化に伴う改修工事を令和元年9月から令和2年12月の間に行いました。

工業団地開発事業・発掘調査事業(18億787万円)

※可児御高インターチェンジ工業団地開発事業特別会計

可児御高インターチェンジ工業団地開発の初年度として、主に用地買収と開発に伴う発掘調査を行いました。



発掘調査風景

#まちの安全づくり

交通安全施設整備事業(1,649万円)

保育園や幼稚園の園児などが散歩で通る道の危険箇所、防護柵の設置などの対策工事を行いました。



新たに設置した防護柵(広見)